

大学院研究室だより

大学院の開設

1987年4月神田外語大学外国語学部：英米語学科200名・中国語学科60名・スペイン語学科20名・韓国語学科20名を設置し開学。

1992年4月神田外語大学大学院言語科学研究科が、英語学専攻（修士課程）と日本語学専攻（修士課程）の2専攻、入学定員：英語学専攻8名・日本語学専攻8名をもって開設。現在は英語学専攻が英語学コース・英語教育学コース・英語コミュニケーションコースの3コース、日本語学専攻が日本語学コース・日本語教育学コースの2コース、計5コースを設置。

更に、学術的言語科学の創造的開発能力を持つ研究者養成の為、神田外語大学大学院言語科学研究科博士（後期）課程を1994年4月に入学定員2名として設置。

開設からの入学者数及び修了者数

	修士課程（博士前期課程）		博士後期課程			
	英語学専攻		日本語学専攻		言語科学専攻	
	入学者	修了者	入学者	修了者	入学者	満期退学
一期生	8人	5人	10人	8人	3人	3人
二期生	6人	3人	12人	10人	2人	1人
三期生	5人	4人	9人	9人	2人	
四期生	7人	5人	9人	9人	2人	2人
五期生	4人	2人	9人	2人	1人	
六期生	10人	8人	6人	12人	1人	
七期生	8人	7人	6人	6人	0	
八期生	8人	5人	7人	4人		
九期生	8人		7人			
合計	64人	39人	75人	60人	11人	6人

平成12年度修士論文題目と執筆者氏名

英語学専攻

- “A Preliminary Study of Effects of SLA Experiential Variables on English Proficiency Skill” 荒川 洋充
- “The Effect of Language Proficiency on Speaking Performance in Pair Work Activity” 荒木 直子
- “A Study of the Effects of Visual Aids and Repetition on Listening Comprehension” 中田 旬美
- “English Middles and Related Problems” 矢嶋 圭子
- “On the Teaching of Spatial Prepositions in English” 山崎 浩紀

日本語学専攻

- “日本語における中間言語の発達”
- 中・中上・上級学習者の会話におけるナレーティブディスコース— 重松 圭子
- “教師フィードバックの種類が推敲作文に与える効果”
- 日本語学習者を対象に— 小林ひとみ
- “非漢字圏出身日本語学習者の漢字認識ストラテジー”
- 文脈支持が与える漢字理解への影響— 松本 順子
- “空間移動と日本語の複合動詞”
- 「～出す」の分析を通して— 進藤 芙美

平成12年度修士研究報告書題目と執筆者氏名

英語学専攻

- “The Effectiveness of form-focussed Instruction and its Role at English Education in Japan” 菊島 翔
- “A Study on Teaching English at Senior High Schools in Japan” 鈴木 健
- “On Some Issues in The Learning of English Floating Quantifiers” 吉野千代美

日本語学専攻

- “金子みすずの詩と現代日本の教育”
- 小学校教科書を対象に— 川崎 節子

修士課程修了者の進路

修士課程修了者は上記の通り1期生から8期生まで99名（英語学専攻39名、日本語学専攻60名）である。

社会人学生も多いので、これらの学生は在学中から中学・高校の英語教諭、日本語教師養成や日本語教育の常勤または非常勤講師として活躍している。

課程終了後の進路としては、94年開設の博士後期課程への進学6名、他大学大学院への進学9名、神田外語大学言語学教育研究所専任講師1名助手2名、日本語教育プログラム4名、北京にある日本人学校の教師1名、韓国の慶北大学の日本語講師5名、同じく韓国の昌原大学の日本語講師1名、昌信大学の日本語講師1名、中国の広東外語外資大学の日本語講師1名、台湾の銘伝大学の日本語講師1名、景文技術学院日本語講師1名などで、国内はもとより海外での活躍も目立つ。

博士論文提出資格者

博士論文提出資格は本学大学院言語科学研究科言語科学専攻博士後期課程における所定の単位を修得し、かつ研究報告論文審査に合格した者に授与されるもので、第1期生3名、2期生1名、4期生2名がその資格を得ている。

「卓越した研究拠点」(Center of Excellence—COE)

文部省科学研究費による先端的言語研究のプロジェクトが、本学大学院を拠点として1997年に発足した。井上和子教授を研究リーダーとし、本学内外の研究者が参加している。研究テーマは「先端的言語理論の構築とその多角的な実証」である。

1998年11月18日、19日に本学内で、COE国際ワークショップが開かれ、基調講演としてNoam Chomsky (MIT) を招待、貴重な講演を経験できた。又、今年度はCOE国際シンポジウムが12月9日、10日に本学内で開かれた。詳細は以下のようである。

平成12年度 講演会・研究会

<COEプロジェクト言語学コロキウム> 2000年6月8日

Counter Equi and the Double-O Constraint

..... University of California San Diego名誉教授 黒田 成幸

Comprehending Japanese Sentences with Scrambling

..... University of Ohio 准教授 中山 峰治

A Derivational Quantification of K- ϕ 神田外語大学COE 金 愛鈴

<COEプロジェクト言語学コロキウム> 2000年7月18日

(1) Unaccusatives, Expletives and EPP-feature of v^*

(2) Topics and the EPP-feature of C

..... Jawaharal Nehru University 助教授 Ayesha Kidwai

<COEプロジェクト> 2000年7月24日

「人間による日本語処理ワークショップ」

<COE言語学レクチャー> 2000年9月4日—9月6日

Tense and its relation to other categories

..... University of California, Los Angeles 教授 Tim Stowell

<COE国際ワークショップ> 2000年12月9日—12月10日

(Session 1: Universal Grammar and Syntactic Theory)

Causatives and the Role of v : Agent, Causer, and Experiencer

..... 長谷川信子 (神田外語大学大学院)

Loss of Wh-Movement in Old Japanese 渡辺 明 (東京大学)

Distributivity and Reflexivity James Huang (University of California, Irvine)

(Invited Lecture)

How Language Use Can Affect Language Structure

..... Frederick Newmeyer (University of Washington)

(Session 2: Language and the Brain)

Localization of Syntactic Processing by Functional Neuroimaging

..... David Caplan (Massachusetts General Hospital & Harvard University Medical School)

ERP Manifestations of Processing Syntactic Dependencies during

Spoken Sentence Comprehension 萩原裕子 (東京都立大学)他

Linguistic Processing in Schizophrenia 中込和幸 (昭和大学)他

(Research Report)

The MIT/JST Mind Articulation Project: Achievements and Prospects

..... Wayne O'Neil & Alec Marantz (MIT)

(Session 3: Universal Grammar and LF/Semantics)

Focus Computations Tanya Reinhart (University of Tel Aviv)

Presuppositional Effects of Short Scrambling in Japanese

..... 石居 康男 (神田外語大学)

On Case and Perception 阿部 泰明 (南山大学)

(Session 4: Language Acquisition)

Unanchored Expressions in Child Language

..... Nina Hyams (University of California, Los Angeles)

Universal Word Order: A View from Children's Relatives

..... 原田かづ子 (金城学院大学)

Developmental Issues in the Acquisition of Japanese Unaccusatives

and Passives 佐野 哲也 (明治学院大学)

(Session 5: Conceptual Structure and the Lexicon)

Semantics and Linguistic Universals James Pustejovsky (Brandeis University)

Auxiliary Selection: A Universal Phenomenon 鷲尾 龍一 (筑波大学)

Transitivity Alternations in Deadjectival Verbs 杉岡 洋子 (慶応大学)

(Demonstration)

- ・ 日本人ソフトウェア技術者のための英文アブストラクト作成支援ツール
- ・ 大量言語データに基づく言語研究を支援する技術

- ・ 日本語述語データベース
- ・ PAPPIによる言語統語解析
- ・ 日本語誤用データベース
- ・ 会話データベース
- ・ 日本語の文レベルでの処理
- ・ キーワード抽出プログラム(KeyGraph)による日本語研究英語文献検索データベース

<COEプロジェクト言語学レクチャー> 2000年12月11日～12月12日

Lectures on Form and Function in Syntax

..... University of Washington 教授 Frederick J. Newmeyer

平成12年度開講科目、担当者

[修士課程]

—英語学科目群—		—日本語学科目群—	
授業科目	担当者	授業科目	担当者
英語学研究Ⅰ (音韻論)	原口 庄輔	日本語学研究Ⅰ (音声・文字)	木川 行央
英語学研究Ⅱ (統語論)	長谷川信子	日本語学研究Ⅱ (統語)	長谷川信子
英語学研究Ⅳ (現代英文法)	久泉 鶴雄	日本語学研究Ⅲ (語彙・意味)	岩本 遠億
英語学演習Ⅰ	長谷川信子	日本語学研究Ⅳ (方言・日本語史)	木川 行央
		日本語学演習Ⅱ	岩本 遠億
—言語学科目群—			
言語理論Ⅰ (音声・音韻)	田端 敏幸	言語理論Ⅱ (統語)	斎藤 武生
言語学特論Ⅲ	岩本 遠億	日英対照言語学	井上 和子
中国語学研究	今井 敬子	言語習得理論	高橋 眞理
スペイン語学研究	江藤 一郎	韓国語学研究	浜之上 幸
社会言語学研究	ソニア・イーグル	応用言語学研究	堀場裕紀江
—言語教育学科目群—			
言語教育学研究	堀場裕紀江	リスニング指導研究	田中真紀子
リーディング指導研究	松井 佳子	評価法研究	堀場裕紀江
英語音声表現応用研究	原岡 笙子	日本語教育学研究	堀場裕紀江
日本語教育学演習Ⅰ	堀場裕紀江	第二言語習得研究	関屋 康
英語教育学演習Ⅰ	フランシス・ジョンソン	英語教育学演習Ⅱ	斎藤 武生
日本語教育教材研究	庵 功雄		
—言語文化学科目群—			
日本事情	山領 健二	言語文化研究	斎藤 武生
比較文化論	遠山 淳		

ーコミュニケーション学科目群ー

授業科目	担当者	授業科目	担当者
コミュニケーション理論	板場 良久	異文化コミュニケーション研究	久米 昭元
スピーチコミュニケーション教授法	松本 茂	英語アカデミックライティングⅠ	ロバート・デシルバ
英語アカデミックライティングⅡ	ブルース・ホートン	コミュニケーション演習	久米 昭元

[博士後期課程]

ー言語科学専攻ー

言語学特論演習(1)	井上 和子	英語学特論演習(1)	
英語学特論演習(2)	長谷川信子	言語学特殊研究	斎藤 武生
英語学特殊研究	フランシス・ジョンソン	コミュニケーション特論演習	長谷川信子
コミュニケーション特殊研究	久米 昭元		久米 昭元